

# もっと京都 新発見

散策 駅からecoマップ



コース5

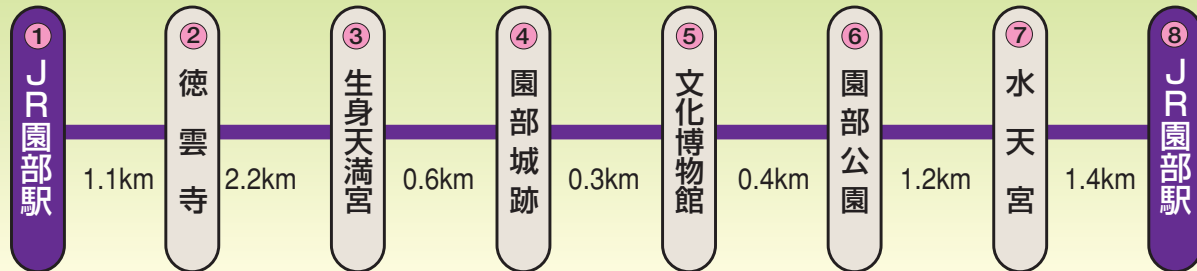
## かわりゆく町並みに残る 日本最古の天満宮を訪ねる 城下町歴史散策

菅原道真公を生前から祀ったことで、日本最古の天満宮といわれている「生身天満宮」や、現在は園部高等学校の校門になっている「園部城跡」を訪ね、城下町の名残を巡ります。

全長：約7.2km 所要時間（目安）：約2時間30分

園部駅

モデルコース



■問合せ 南丹市商工観光課 TEL 0771-68-0050 FAX 0771-63-0654 <http://www.city.nantan.kyoto.jp>

発行 京都府・JR西日本観光連携協議会（（社）京都府観光連盟内） JR嵯峨野線沿線観光キャンペーン推進協議会（京都府南丹広域振興局商工労働観光室 南丹市商工観光課）

とくうんじ  
**② 徳雲寺**



江戸時代に園部藩主小出氏の菩提寺となり、藩内の曹洞宗寺院の本山として栄えた。伽藍は数回にわたる火災によって焼失し、現存のものは文化年間の建立。境内には、唐門や江戸期の作庭である禅式庭園、四隅

にふくろうの彫刻がある大手洗鉢などがある。

○問合せ 0771-62-0503

いさみてんまんぐう  
**③ 生身天満宮**



菅原道真公が九州に左遷される折、園部の代官武部源蔵に八男慶能君の養育を託され、当時小麦山にあった邸内にひそかに道真公の木像を刻み、祀ったことが起こりといわれている。在世中から奉祭していたことから生身天満宮と称し、日本最

古の天満宮とされている。小出氏の園部城築城ののち、承応2年、現地に移築された。

○問合せ 0771-62-0535

そのべじょうあと  
**④ 園部城跡**



初代園部藩主小出吉親が、但馬出石より転封した元和5年に築造。当初は陣屋として築造されたが、幕末から明治にかけて櫓や城門等の整備を行った。現在は府立園部高等学校・附属中学校となり、城跡には校舎が建設されているが、城門はそのまま校門に転用され往時を偲ばせている。

**⑤ 南丹市立文化博物館**



1階の常設展示室では歴史の流れに沿って順に資料が展示されており、有史以前から現代までの園部の歴史をひととおり体験できる。垣内古墳などの出土品の展示や解説、園部藩と園部城や、当時の文化や工芸についての紹介のほか、生身天満宮の祭礼の復元模型なども展示。

また、2階の企画展示室では企画展や特別展が開催される。

○開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30迄)

○休館日 月曜・祝日 (月曜にあたる場合は翌火曜も休館)・年末年始

○入館料 大人300円、高校生・大学生200円、小学生・中学生100円

○問合せ 0771-68-0081

**⑥ 園部公園**



公園内には生身天満宮跡の碑があるほか、園部城をモチーフにした国際交流会館等の施設がある。散策路を備える小麦山は風致林となっており、モミ・アラカ

シ・イヌシデなどが群生している。また山上には数々の記念碑がたっている。当公園は園部城跡とともに「京都の自然200選」に選定されている。桜や紅葉も楽しめる。駐車場・トイレあり

すいてんぐう  
**⑦ 水天宮**



商店街の中に鎮座する小さな神社。園部城築城のため園部川の流れを北へ振り町を広くして城下町を作られた際、城郭の守護として堤防上に水天宮を創建されたと伝えられる。安産と水難、水商売の守護神をまつる。鳥居

の左側には除災招福の小さな河童像がある。

**その他**

●南丹市立国際交流会館

園部公園内にある園部城をモチーフにした施設。ホールや研修室のほか、CATVスタジオ、レストラン、プールなどを備える。

○所在地 南丹市園部町小桜町

○休館日 南丹市立文化博物館と同じ

○問合せ 0771-63-1777

●町屋工房 息吹

京都伝統工芸大学のOBによる「京都匠塾」が運営する若手職人の共同工房。伝統工芸品の創作・販売をおこなっている。

○所在地 南丹市園部町本町 (京都信用金庫前)

○定休日 水曜日 ○活動時間 9:00~20:00